

## 中部ESD拠点運営委員会（第16回）議事メモ

日 時 平成21年3月26日（木）17時00分～18時45分

場 所 中部大学名古屋キャンパス（8-C号室）

出席者 竹内委員長、寺井、羽後、高山、黒岩の各委員、

オブザーバー 村瀬、西尾、石川、

事務局 永田、古澤

### 議 事

#### 1. 「キャンパス・エコマネー」について

・愛知県環境部環境活動推進課課長補佐の西尾氏より、県の事業である「EXPOエコマネー事業」を発展させた「キャンパス・エコマネー」事業の説明がされた。加えて、NPO法人エコデザイン市民社会フォーラムの石川氏より、「EXPOエコマネー」の概要と実績の報告と、大学内で学生主導により流通させる「キャンパス・エコマネー」の案が説明された（資料『キャンパスマネー構想の推進』）。

また、西尾氏より、今後の公募に関する企画案の説明がされた。その際、愛知県内の大学を対象に、5大学程度、各上限15万円でエコデザイン市民社会フォーラムがエコマネーを利用した企画を募集する予定であることが報告され、ESDに関わる大学の参加が促された。詳細が決まり次第、改めて当運営委員会にて再度説明をしていただくこととなった。

#### 2. アクションプランについて

##### <生物多様性COP10について>

- ・アカデミックな立場からの貢献について（第15回議事メモ 2-1参照）

竹内委員長より、愛知県担当者から名古屋大学に対して、COP10のサイドイベントにおけるアカデミックな学術会議の開催依頼があった旨が報告された。そのため、竹内委員長より、前回（第15回）議論されたような、中部ESD拠点協議会として、具体的なCOP10の議題に対してアカデミックな貢献をして行くことに、特に固執する必要はないのではないか、という意見が出された。この意見を踏まえ、種々議論された結果、中部ESD拠点協議会として、COP10へアカデミックな立場からの貢献を行うことを見合わせることにした。

- ・国内RCEの連携によるCOP10への貢献事業提案について（第15回議事メモ 2-3参照）

古澤事務局員より、国内のRCEへ、COP10に向けた国内RCEの協働に関する情報提供を事務局から募った結果、現在までにどこのRCEからも返答がもらえていない旨が報告された。

また、高山委員から、生物多様性条約（CBD）市民ネットワークの活動内容の現状が説明され、中部ESD拠点協議会として生物多様性条約市民ネットワークの「流域作業部会」へ参加してみる

かどうか、との提案がされた。この提案を踏まえ種々議論され、COP10へ向けた地域内での貢献も、中部ESD拠点のCOP10関連活動の一つの柱として議論されていた経緯に鑑み、地域貢献活動のひとつとして中部ESD拠点協議会が、生物多様性条約市民ネットワークの投票権のある正規会員として参加する旨が承認された。

また、生物多様性条約市民ネットワーク内の運営委員会などに入る場合は、担当者を決める必要があり、この場合は高山委員が担当となる旨が了承された。

### 3. 国連大学の提出書類（Annual Report）について

古澤事務局員より、国連大学が各RCEに提出を求める年次報告書（Annual Report）の雛形が、国連大学より送られてきた旨が報告された。約30問の質問形式による調査票で構成されており、昨年同様に、事務局で回答（案）を書き込み、千頭副委員長に追記を依頼し、最終的に運営委員会で承認を受けて提出することとした。

また、5月中旬にモンリオールで開催されるRCE世界会議へ向け、中部ESD拠点協議会からの参加者を誰にするかを定める議論を行った（自費での参加は自由）。永田事務局員より、中部大学からの支援として二名分の旅費を確保している旨が報告された。二名の枠に対して種々議論された結果、武者小路委員と事務局員一名の計二名が参加することを決定した。

### 4. 中部ESD拠点ロゴマークの使用について

古澤事務局員より、ロゴマークの使用に関するマニュアル案が提示され、その内容に関して種々議論がされた。文章の表現に加え、ロゴマークの販売物への使用に関して、修正を加えて再度、運営委員会委員へメールにて承認を得ることとした。

原則的には、販売物に中部ESD拠点ロゴマークを使用することは禁止とするが、ロゴマーク公募審査会で意見が出たように、運営委員会や中部ESD拠点協議会として、ロゴマークをモチーフにしたクリップなどのグッズを販売する可能性を考慮し、その対応ができるマニュアル案を事務局が再度作成することとなった。

また、ロゴマークに使用している配色番号も明記することとした。

### 5. 中部ESD拠点協議会参加希望団体の承認について

黒岩委員より、中部ESD拠点協議会への参加を希望している団体に関して説明があり、下記の団体を協議会参加団体として承認した。

・ワールド・ヒストリー・ファウンデーション

### 6. その他、次回日程など

岐阜大学の代表として中部ESD拠点発足時から運営委員として会議に出席願っていた長谷川委員に代わり、同大学の川上紳一氏（岐阜大学教育学部教授）が運営委員となる予定である旨が事務局より報告された。

次回中部ESD拠点運営委員会（第17回）日程は、4月16日（木）の18時半から21時となった。

以上